



2024年3月14日

報道関係者各位

株式会社ファームノート Dairyプラットフォーム
丸紅株式会社
明治ホールディングス株式会社

酪農分野のカーボンニュートラルの実現に向け、J-クレジットを活用

株式会社ファームノート Dairyプラットフォーム（代表取締役：平 勇人・以下、ファームノート DP）、丸紅株式会社（代表取締役社長：柿木 真澄・以下、丸紅）、ならびに明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫・以下、明治 HD）は、このたび酪農分野のカーボンニュートラルの実現に向けて J-クレジットを活用しました。

今回の取り組みは、ファームノート DP の牧場におけるふん尿の管理方法を変更することで、温室効果ガス（以下、GHG）排出量を削減するものです。従来、畑に散布されていた乳牛のふん尿を、「貯留」から GHG 排出係数が小さくより環境負荷の低い「強制発酵[※]」に変更することで、2022年8月から1年間で149トンのCO₂を削減することができました。丸紅が GHG 排出量の算定や J-クレジットの申請・販売を行い、明治 HD がその J-クレジットを購入するという仕組みです。

このような家畜排せつ物管理方法の変更により生み出された GHG 排出削減による J-クレジットの活用は、日本では初めての取り組みです。酪農・畜産業界において経済的な循環を生み出し、カーボンニュートラルの実現を目指していきます。

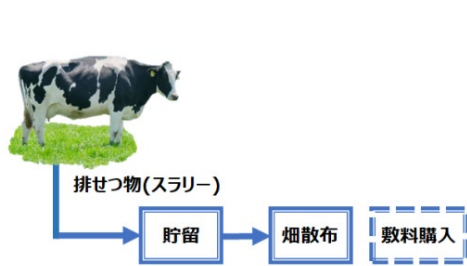
※強制発酵：攪拌等により強制的に空気に触れさせることによって起こる発酵のこと。



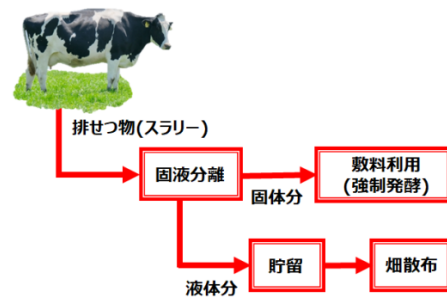
分離した固体分を強制発酵し敷料として利用



強制発酵したふん尿



従来の排せつ物管理方法



GHG 削減に寄与する管理方法

なお、今回 J-クレジットを創出したファームノート DP は、酪農分野における社会課題の解決、生産性向上を目指すスタートアップ企業ファームノートホールディングス（代表取締役：小林 晋也・以下ファームノート HD）の子会社です。丸紅はファームノート HD に 2021 年に出資し、酪農・畜産 DX の加速度的な推進による生産性向上・効率化の実現に向けて取り組んでいます。明治 HD は 2023 年に出資し、明治グループが研究開発する素材・商品における実証実験の場としてファームノートグループが経営する牧場を活用し、持続可能な酪農業実現に向けて取り組みを強化していきます。

ファームノート DP、丸紅、ならびに明治 HD は、今後も新たな知見や技術を持つ企業と積極的に協力し、持続可能な酪農業の実現に貢献していきます。

【参考情報】

- ・株式会社ファームノートデーリィプラットフォーム
<https://farmnote-dp.jp/>
- ・畜産業界における J-クレジット制度への登録について（丸紅 2022 年 9 月 21 日リリース）
<https://www.marubeni.com/jp/news/2022/release/00067.html>
- ・酪農・畜産 DX の推進に向けた協業開始について（丸紅 2021 年 8 月 17 日リリース）
<https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/00074.html>
- ・スマート酪農、サステナブル酪農を推進する“酪農 DX スタートアップ” ファームノートホールディングス社に出資（明治 HD 2023 年 8 月 2 日リリース）
https://www.meiji.com/pdf/news/2023/230802_01.pdf

- ・酪農乳業を、もっと持続可能に。

持続可能な酪農乳業を目指し、明治グループは「酪農家支援」「地域貢献」「環境負荷低減」の3つの領域でアクションを推進します。

<https://www.meiji.com/sustainability/dairy/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファームノートデーリィプラットフォーム

TEL：0153-72-4500 メールアドレス：fdp@farmnote.jp

丸紅株式会社

[こちら](#)よりお問い合わせください。

https://www.marubeni.com/jp/contact_form/form.php?category=news

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL：03-3273-3917 メールアドレス：mhd-pr@meiji.com